

NEWS RELEASE

報道資料

2010年6月22日

(日本時間)

アプライド マテリアルズ 太陽エネルギーの意識調査を実施
米消費者は太陽エネルギーの利用拡大を支持
「再生可能エネルギーは高くても使いたい」人が増加

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社 : 米国カリフォルニア州サンタクララ、会長兼 CEO マイケル・スプリンター) は 6 月 21 日 (現地時間)、先に米国で行ったソーラー発電に関する意識調査の結果を発表しました。これによると、国内のエネルギー需要に応えるためソーラー技術の利用をさらに拡大すべき、と回答した人が全体の 3 分の 2、再生可能エネルギーを増やして外国産石油への依存を減らすことが最も重要、と答えた人は全体の 4 分の 3 に上っています。

6 月 21 日は夏至で、1 年で最も日照時間が長くなります。夏至にあたり、また米議会で行われているエネルギー改革法案の議論を深めるため、世界最大のソーラーパネル製造装置メーカーであるアプライド マテリアルズは、このほど米国において、ソーラーエネルギーに関する意識調査を昨年を引き続き今年も実施しました。この調査は、太陽エネルギー利用に関する米国民の認識や考え方を探ることを目的として行っているものです。

調査結果によれば、「電力会社が再生可能エネルギーの利用を増やすなら、月々の電気料金支払い額が増えてもよい」と回答した人は 67% に上ったほか、「再生可能エネルギーの増加のためには月 5 ドルないしそれ以上の電気料金値上げを容認できる」と答えた人は全体の 49% を占め、昨年を 14% 上回りました。

アプライド ソーラーのプレジデント、チャールズ・ゲイは次のように述べています。「米国では、太陽光発電など社会責任に配慮したエネルギーソリューションの必要性に対する認識が高まりつつあり、一般家庭や産業界向けに代替エネルギーの導入を促進する政策や投資を政府に求める声が強まっています。的確なエネルギー法が制定されれば、米国にはクリーンエネルギー革命が起き、今世紀最大級の経済波及効果と雇用創出をもたらす可能性があります」

調査結果の詳細については、<http://blog.amat.com/solstice> をご覧ください。

調査方法

アプライド マテリアルズは、ケチャム グローバル リサーチ ネットワーク (Ketchum Global Research Network) に委託して、米国の成人 1,000 人を対象とした電話調査の企画と分析を行いました。本調査では、自然に再生されるエネルギー源 (太陽光、風、潮力、地熱など) から生成されるエネルギーを「再生可能エネルギー」と定義しています。実際の調査は調査会社 ORC が行い、2010 年 6 月 10 日～13 日にかけて実施されました。信頼度 95%における標本誤差は±3.0%です。

アプライド マテリアルズは、半導体チップ、フラットパネル、太陽電池、フレキシブルエレクトロニクス、省エネガラスの製造におけるイノベーティブな装置、サービスおよびソフトウェア製品を幅広く提供する Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーです。アプライド マテリアルズは、人々のライフスタイルを向上させるナノマニュファクチャリングテクノロジーを提供します。

詳しい情報はホームページ : <http://www.appliedmaterials.com> でもご覧いただけます。

このリリースは 6 月 21 日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:渡辺徹)は 1979 年 10 月に設立。京都支店ほか 10 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社

社長室: 大橋 百合 (Tel: 03-6812-6801)

ホームページ: <http://www.appliedmaterials.com>
